

授業案の形式

◇単元名

◇単元の目標

◇本時の目標

◇配慮や工夫

導入では、見通しをもたせるために…

展開では、

まとめでは、学習内容を振り返らせるために…

「導入」「展開」「まとめ」の段階を位置付け、それぞれの過程ごとに取り入れられた学習環境と取り入れる意図を示します。

「導入」の段階では、生徒が学習の見通しをもちやすくする学習環境について、そして、「まとめ」の段階では、生徒が学習したことを振り返りやすくなる学習環境について示します。

学習活動に対して予想される苦手さに応じた学習環境を取り入れます。

◇本時の学習活動と具体的な学習環境等

	学習活動	具体的な学習環境等
導入	1 本時の学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業の見通しがもてるように、本時の流れを板書する。 <p>最初の3分程度を使って前時の学習を想起させ、本時の学習の流れを示します。</p>
展開	2 ○○について考える。 3 △△について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の考えをもちやすくするために、内容を理解する際にポイントとなる言葉や表現を説明する。 自分の考えについて、少人数での話し合い活動を取り入れる。 <p>教師の説明を聞く場面、板書を書き写したり計算問題を解いたりする作業的な場面等をバランスよく取り入れます。 それぞれの活動に生徒が意欲をもって取り組むことができるように、活動量や活動形態を工夫します。</p>
まとめ	4 本時の学習を振り返る。 5 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートや板書のキーワードを基に、学習した内容を振り返らせる。 <p>最後の5分程度を、授業の振り返りに充てます。 授業内容の理解・定着につなぐことができます。</p>